

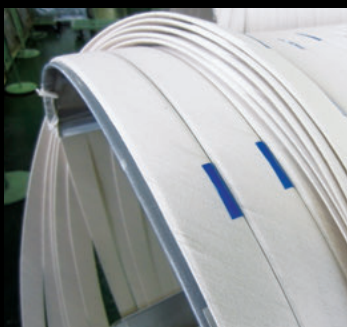
ultimate
handmade

職人による、 究極のハンドメイド



生産数は、1人あたり1日わずか3本強。
気温や湿度により変わる
素材のコンディションの見極めなど
独自のノウハウと徹底した品質管理により、
高性能のシームレスタイヤを作り続けている。

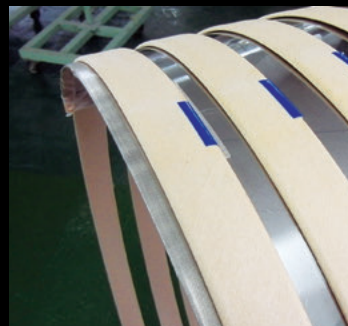
糸の送り量も逐一調整 1層目成型



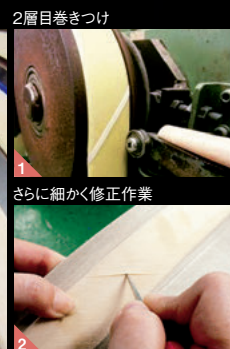
チューブに一定の角度をつけてコード糸を巻きつけ、
1層目のケーシングを成型する。
重なり部分や糸目を修正する、繊細で根気のいる作業だ。
次にラテックス糊、次にゴム糊を塗り乾燥する。



糸目、糊のムラを徹底修正 2層目成型



1層目の上に逆の角度で巻きつけ、
2層目のケーシングを成型する。
ゴム糊をコーティングした1層目の上に巻くため、
修正はさらに難しくなる。
性能に影響するため、ほんの少しの
糊ムラや異物も見逃せない。
検査後、1層目と同様に糊を塗り乾燥する。



人の手と目が生きている
シームレスタイヤ。

経験と慎重さが必要

トレッド貼り付け



不要な応力を残さないよう、
ケーシングに空気を入れた状態で
トレッドを接着する。
その際、センターに偏りが出ないように
細心の注意を払う。
糊は乾く直前が最も強度が高くなるため
貼るタイミングの見極めが重要となる。



高品質をそのままお届け

完成した製品は、
布製カバーや
専用段ボールを使い、
円形のまま発送されます。

圧縮・加熱で強度を上げる トレッド加硫



リング状に繋ぎ合わせたゴム原料を
加硫機に入れトレッドを成型する。
その後、手作業でサイドのバリを取り、
接着面は研磨を行う。

手でひとつひとつ丁寧に バルブ取り付け



チューブ取り出し



ケーシングを開いてチューブを取り出し、
ゴム糊を使ってバルブを取り付け乾燥させる。
チューブをケーシング内に戻し、
開いたケーシングを修復する。

MASUDA
factory

シームレスタイヤの産地
益田工場



益田工場



島根県益田市遠田町2142番地

世界で唯一の技術 シームレスタイヤ

All made in JAPAN.

つなぎ目のない唯一のタイヤ SOYO SEAMLESS TYRE

タイヤは、チューブ、ケーシング、トレッドで構成されています。

ケーシングはチューブを包み込み、チューブの空気圧を抑え込む働きをします。

一般のチューブラータイヤのケーシングは裁断され、縫製により成型されています。

縫い目^{*1}には大きな力が加わるため、ケーシングが破れないように

折り返して強度を上げています。^{*2}

この折り返し部分は全体の1/3を占め、タイヤが重くなる要因になっています。

折り返し部分は硬く分厚くなり、縫い目には出っ張り^{*3}が発生して

タイヤの断面は真円にはならないのです。

SOYO SEAMLESS TYREには、 縫い目も折り返し部分も存在しません。

一切つなぎ目がないため、タイヤにかかる応力はケーシング全体で受け止めることができます。

そして何より、断面は真円です。

これにより、縫製チューブラーでは絶対に得られない秀逸な性能を発揮します。

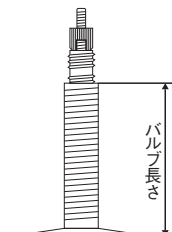
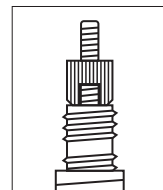
- ・路面と常に一定した接地角度が得られ、安定したグリップ力と良好な操舵性がある
- ・つなぎ目のないケーシングが、路面から受ける衝撃を分散吸収してライダーの負担を減らし、長時間乗っても疲れにくく、体力を温存出来る
- ・低い転がり抵抗による滑らかな加速感
- ・ケーシングの折り返しがないので、軽量
- ・真円なので、リムへの装着性が良い



SOYO TYRE バルブ長さ参考図

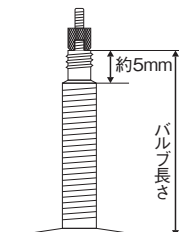
セパレートタイプ (バルブコア脱着可能)

拡大図



バルブコア外せないタイプ

約5mm



拡大図

